



日本の名城シリーズ その9

白河小峰城 (白河城または小峰城ともいい、国の史跡に指定)

阿武隈川と谷津田川の間位置し、小峰ヶ丘という丘陵にあった平山城である。東北では珍しい総石垣造りの城で、盛岡城、若松城とともに東北三名城一つにも数えられている。

この城は南北朝時代1340年に結城親朝氏が築城して、小峰城と名付けたのが始まりとされる。

1590年城主の白河結城氏が、豊臣秀吉の奥州仕置きにより改易されると、この地は会津領となり、蒲生氏、続いて上杉氏、再度蒲生氏が支配したが、1627年丹羽長重氏が10万石で棚倉城から移封されると、幕命により1629年より大改築に着手、1632年に完成した。

築城 1340年 廃城 1871年(明治4年)

(ウィキペディアより引用)

会報発行によせて 「環境について～新型コロナと大雨」

東葛支部長 坂巻 実

会員の皆様、遅くなりましたが第32号東葛支部会報を、お届けいたします。

昨年12月中旬中国武漢で新型コロナウイルスが発生し、我が国でも本年2月から感染が広がり、全世界での感染者が1千万人、国内でも2万人、千葉県でも1千人を越えようとしています。首都圏を中心に収まる気配がありません

速く治療薬の開発がのぞまれます。

又、地球温暖化の影響により、局地的な大雨が、ここ5～6年の間に多発するようになり、河川の氾濫、台風の巨大化が現れるようになってきました。

現在大部分の市町村にも、環境課とか、環境政策課などの部署がありますが、その仕事の内容は、教育、交通、医療分野などの多岐にわたり、その政策を実施しても、効果が現れるまでには、予算その他の関係で数年かかり、行政の中でも陽の当たる部署ではないように見受けられます。陽の当たる都市計画課等の摺合せがいつも問題に

なります。これからは大事な部署になるでしょう。

線状降水帯（寒気と暖気の温度差が5度以上ある空気同士がぶつかった連続した境界線による地上での線状部分では次々と積乱雲が発生する）と言う言葉が、天気予報で特に梅雨、台風時に話されるようになりました。

我が国でも、石炭火力発電所から発せられる温暖化の原因となる二酸化炭素の削減を目指して効率の悪い火力発電所を廃棄する事が決まりましたが、それに変わる電力供給も合わせて考えなければなりません。世の中が安定している時は、環境問題は出てこないでしょう。

より良い生活を送る為に、前を向いて「中庸の精神」でこれからの100年時代を生きる事が大事であると思います。

以上雑感まで。

皆々様 達者で !!

新任のご挨拶

千葉工業高等学校 校長 江口 敏彦



この度、3月末の人事異動により着任いたしました。私自身、工業科の教員ですが、専門が建築のため、千葉工業高校での勤務は初めてとなります。県内で最も伝統ある工業高校である本校への異動を申し渡されたときには、たいへんな重責を感じ、身の引き締まる思いで参りました。どうぞよろしく願いました。

私の教員人生は市川工業高校からスタートしました。と申しましても、最初に述べましたとおり、建築科の教員であったため、

その後23年間、市川工業でお世話になることになりました。学生時代に建築史を専攻していたため、教員になっても引き続き、県内に現存する明治時代から昭和戦前にかけての歴史的に価値ある建築物の調査に取り組み、生徒たちを現場に連れて行って、実測や作図、模型製作などの活動を行いました。初任の私に教師としての心構えを教えていただいたのが、当時、市川工業校長の鈴木和美先生でした。その後も、歴代の千葉工業の校長となられる先生方に、多くの御指導をいただきました。

充実した市川工業での教師生活の後、初めての異動が千葉県教育庁指導課で、そこで工業担当の指導主事として3年間勤務しました。それまで1校しか経験のなかった

私が、工業高校も含め、多くの高校の様子を知ることができ、視野を広げることができました。

学校現場には、特別支援学校市川大野高等学園に教頭として戻りました。生徒一人ひとりの個性をとっても大切にしながら、愛情を注ぐ先生方の姿勢や、今の社会で重要視されている特別支援教育の在り方や考え方について、多くのことを教えていただきました。

その後再び、市川工業高校に、今度は定時制の教頭として勤務することとなりました。工業の知識や技術を学ぶために社会人や高齢の生徒がいたり、外国につながる生徒がいたり、様々な環境を背景にもった生徒が集まって、勉強や部活動、技術コンクールに向けた練習などに打ち込む姿は、私に定時制教育の大切さを再認識させてくれました。

そして、前任校は、松戸馬橋高校でした。部活動やボランティア活動が盛んな普通高校で、道路を挟んで小、中、高校が隣接する恵まれた条件のもと、一緒に近隣の川沿いの遊歩道に花植えをしたり、小、中学生に勉強を教えたり、合同コンサートを行ったり、生徒たちは生き生きと学校生活を送っています。

工業の教師としての経験が、市川工業のみであった私に、その後、多くの経験をさせていただいた方々には、ありがたい気持ちでいっぱいです。そして、歴史と伝統ある千葉工業高校を、私の教師人生の集大成の場としていただいたことに感謝しつつ、

全力を尽くす所存です。

今、感染症拡大の影響で社会が混乱している中ですが、全日制、定時制とも新入生を迎え、新たな年度が始まりました。入学式には、御来賓の御臨席をいただくことが叶いませんでしたが、生徒たちは緊張の中にも、希望に満ち、堂々とした姿勢を見せてくれました。これまで誰も経験したことのない状況ですが、千葉工業高校の生徒たちは、きっとこの困難を乗り越えてくれることと思います。

千葉工業高校は、先輩方がこれまで築いてこられた伝統を引き継ぐとともに、新学科の増設や I C T (Information and Communication Technology) 環境の充実が進み、就職や大学進学、資格取得などの実績もますます高まっています。また、工業教育の拠点校として、さらには、大学や企業、関係機関との連携強化のための「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」の主要メンバーとして、なお一層の前進を目指して参ります。同窓生の皆様には、これまでの御支援に感謝申し上げますとともに、今後とも母校の発展のために、さらなる御指導をお願い申し上げます。



東葛支部「BBQで秋の定例会」

金子賢二 34M



東葛支部9月の定例会は、昨年と同じく「アリオ柏」のBBQ 会場で8名の参加者を得て行われた。

この日は朝から雨模様で肌寒い日だったが、6月の総会以来の仲間たちとの逢瀬を楽しみに傘を片手に出かけた。JR 我孫子駅前から出る無料直通バスには、我々仲間5名を含め40人程が乗車した。見慣れた「ア

リオ柏」に到着してビルを通り抜けるとBBQ会場が遠望できた。雨に濡れたテントが1カ所だけ来客を待っているかのように整頓され、係員に問うと我々以外に予約客は「ない」という。

時折、冷たい風に吹かれて、そば降る秋雨がわれわれの肩を濡らしてゆく。その度に浅い酔い心地を覚ましてくれる。それにもめげずにビールやハイボールを飲み、焼き肉を頬張り、まずは支部長報告を聞き、先の支部総会の感想を語り合う。

本日の食材は牛肉・鶏肉・豚肉・玉ネギ・ニンジン・ピーマン・カボチャ・トウモロコシと続き、中でもフランクフルトは全員が「美味しい!」と焼物担当の加藤氏を誉めたたえた。

焼肉の焦げ付きを見て、炭素の話から小惑星リュウグウには人類の起源を有しているかも……と、話題は「はやぶさ2号」の活躍へと飛ぶ。

BBQ会は終わりに近づき、鎌形氏から「指トンボ」が紹介される。このトンボの芯は「白樺のツマヨウジ」が一番適していると説明を受け、直径6～7センチの小型紙トンボがみんなに渡されて、ねじった指先から飛び出す小さな紙トンボを見て楽しんだ。

会の打ち上げは、焼きそばと小玉スイカを食して閉会となった。帰路はバス待ちの間に全員でスタバのコーヒーを飲み「次回の例会は11月の『男の料理教室』です。また元気で会いましょう」と励まし合って現地解散となった。



秋の催し「免疫力料理づくり」に挑戦

金子賢二 34M

朝から秋晴れの温暖な11月6日(水)、東葛支部は秋の催しの二つ目「男の料理教室」を会場集合9時(東武アーバンパークライン高柳駅付近の近隣センター)で開催した。傘寿目前の我が身には日の出前の早起きはきつかった。



この日参加の7人が揃ったところで、調理室に集合して実習前に支部定例会を済ませて先生の到着を待つ。9時半、先生到着。食材搬入の手伝いをして教室開催の挨拶をする。

前掛けとスカーフを身につけ、手洗いを充分にして本日の料理説明や手順を聞き、食材の洗滌(せんじょう)に入った。

今日の主題は「免疫力」、料理は5品です。

①ツナとエノキの炊き込みご飯、②なすとみょうがのみそ汁、③鶏ささみのショウガ焼き、④野菜とキノコのショウガ蒸し、⑤ラーパーツアイ(白菜の中華風ピリ辛甘酢漬け)。生徒は4人と3人に分かれ、先生を含めて8人分を作ります。

まずは炊き込みご飯から――。磨いた米3合に大さじ3杯の酒を入れ普通の水加減で混ぜ、シーチキンと瓶詰めエノキを汁ごと入れて炊き上げる。

次はなすとみょうがを斜め薄切りにしてみそ汁を作る。3品目はちょっと難しい鶏ささみの筋抜きを教えてもらい、ショウガ焼きに挑戦。4品目は小松菜、まいたけ、長芋、ショウガをそれぞれの刻み方をしてフライパンに並べ、塩ひとつまみを入れて



蓋をして蒸す。

最後は白菜を千切りにして赤唐辛子やごま油、酢、砂糖で味付けしたラーパーツアイで締める。

料理作りは相変わらず道具や食器探しに困惑、あちこちの戸棚や引出しを開けて大騒ぎしながらも何とか作り終える。盛りつけされた5品が調理台に並べられるときれいな彩りと香ばしい温かな料理に一同の顔がほころんだ。

全員で出来上がった料理と共に写真を撮り会食になる。“美味しい！”。普段、料理の経験がない男の味付けが心配だったが、先生のレシピに従ってやれば結構美味い惣菜が作れるものだとちょっと自信を持ちました。まずは、時々台所に立つことからだね。

第35回千工同窓会ハイキングに参加して

中村 軍治 (32 M)

平成最後のハイキングが、平成 31 年 4 月 6 日 (土) に実施されました。

J R 総武線平井駅北口に 10:30 集合。総勢 21 名参加、天気晴朗。

東葛支部より、坂巻支部長、伊橋氏、中村の 3 名参加。



まず駅近くの橋家圓藏師匠を記念する、「ひらい圓藏亭」を見学。小松川の街を京葉道路下を潜り、荒川のスーパー堤防に出る。この広大な土手に千本桜が密集して植栽されているのである。

この年は、開花は早くこの時期は葉桜になっている頃でしたが、3月末から、低温が続いていた為か丁度見頃の満開となつて一同歓喜に沸いた。

ソメイヨシノ桜を始め、エドヒガン桜、早咲

きの八重桜等、数十種の桜の競演であった。

各地で会社の鳴り物入り花見会や売店、運動場でのイベント等未曾有の賑わいであった。

都営新宿線船堀駅近くの「タワーホール船堀」で高さ 103 m の展望台 (無料) に搭乗し都内を鑑賞した。ここで伊橋氏とは別行動となりました。

旧船堀川で江戸時代、行徳の塩を江戸に運ぶための約 3 km の運河である新川 (江戸川と荒川を結ぶ) の畔で昼食を摂り、行船公園にある平成庭園ではシダレ桜が、池に反映してみごとであった。近くには江戸川区自然動物園 (無料) があり、暫し童心に還ってひと時を過ごした。

帰途は東京メトロ東西線西葛西駅で解散となり、西船経由で帰途に着いた。



リニアが結ぶ巨大経済圏 —6600万人の街が動き出す

坂巻 實 (34 M)

昨年、東葛支部は創立 20 周年を迎え、2020 年は令和の船出となりました。

今年は 2 回目の東京オリンピックが 55 年振りに開催されます。

昭和 39 年のオリンピックの時には、首都高速道路が完成し、我が国の経済発展に多大な寄与をしました。

今回は上記の表題で、少し述べたいと思います。

2027 年に開業をめざすリニア新幹線の停車駅は、始発品川駅—相模原市—甲府市—飯田市—中津川市—名古屋駅—大阪駅です。(市名で記載はまだ駅名が決まっていない) 所要時間は品川駅—中津川間は最速 40 分、中津川—大阪駅間は最速 67 分の計画です。

このスピードは、日本人の暮らしを一変させる可能性を秘めています。

運行エリアの商業圏の GDP は、国全体の 6 割強の約 330 兆円とされています。

6600 万人の街とは、首都圏の人口 (東京、神奈川、千葉、埼玉) で 3662 万人。

中京圏の人口 (愛知、岐阜、三重) で 1143 万人、近畿圏の人口 (大阪、京都、奈良、兵庫) で 1834 万人の合計人口です。(住民基本台帳 2019 年 1 月 1 日現在)。域内の 6600 万人が 1 時間余りで行き来できる世界でも類を見ない巨大都市圏が生まれます。

前回のオリンピック同様リニア新幹線に未来を託し動き始めました。

移動時間が 1 時間で行き来できれば、朝東京或いは大阪を立ち、大阪、東京で数時間の仕事をし、帰宅するという通勤圏になる可能性もあります。これからは、どこが日本の中心かと言う考え方はなくなるのではないのでしょうか。

リニア新幹線は東京品川駅が起点となり、そこから北に 1 キロほどの寺 (願生寺) の境内に牛を供養する塔がひっそりと立つ。江戸の街作りに必要な建築資材を牛車で運



ぶ「牛屋」が周辺に集まっていたことが、ゆかりです。江戸時代、品川には、東海道の第一宿、品川宿が置かれ、大名行列の通り道にもなるなど、長らく交通の要衝として栄えてきました。それから 400 年余り、リニア新幹線を追い風に大規模開発が進み、今度は、国内外から人が集う日本の玄関口になりそうな熱気を帯びています。

品川駅近くにあった車両基地には、今年 3 月「高輪ゲートウェイ駅」が開業、2024 年頃には、車両基地跡地の 7.2 ヘクタールに高層ビル 4 棟が建ちホテル、オフィス、国際会議場などができる予定です。

新幹線で全国と結ばれる東京駅に比べ、品川は目立たない存在でしたが、今後はリニア新幹線始発駅や羽田空港にも近いという強みを生かし表舞台に躍り出る事でしょう、

リニア新幹線の途中駅が設けられる長野県南部の飯田市や、岐阜県中津川市は東京までは高速バスで 4 時間かかりますが、リニアでは 1 時間弱に短縮され、首都圏近郊の街と肩を並べるようになります。

自然に囲まれた自宅で働き、たまに都会の本社に行く。そんな人たちの間で定着すれば、創造的な仕事ができ、シリコンバレーならぬリニアバレーになるきっかけになるやも。

希望に満ちた街を作ってくれることでしょう。

2019年5月より平成から令和に改元され、皇室をはじめ、日本の各地で、いろいろな行事がありました。私事でもいろいろありました。たとえば・・・。



① 5/24 (金) 西澤校長からの依頼で、千葉工業高等学校と来日した、姉妹校の台湾東勢高級中学校との交流(生徒21名と教師3名及び通訳や千葉工業の生徒役員並びに教師等)に千代紙キャッチとんぼを100機プレゼント、飛ばし方を教えました。同校の過去3年間の生徒海外研修ではスーパー竹とんぼとシューターでしたが今回初めて、千代紙キャッチとんぼの依頼がありました。

② 5/25 (土) 80歳(傘寿)の誕生日
定年後に加入した卓球「グリーンクラブ」の皆さんより、「お祝いの色紙」をいただき、後日、有志による飲み会を開いてもらいました。

③ 6/10 (月)、7月末に全国工業高等学校長協会の鈴木賢二事務局次長(前千葉工業高校校長)より、「7月末に行われる、ベトナムへの生徒海外研修に、山田事務局長時代から3年続いていた生徒海外研修にスーパー竹とんぼとシューター(飛ばし機)を送ってほしい」との依頼があり、上記の交流用50セットと、見学先等のお土産用として、初めて、千代紙キャッチとんぼと竹とんぼの3連セット10個を送りました。

④ 6/23 (日) 東京オリンピック・パラリンピックで松戸市はドミニカ共和国とルーマニアのホストタウンになっており、来日する選手、役員に「千代紙キャッチとんぼ」をプレゼントする事を松戸市、総合政策部、東京オリンピック・パラリンピック推進課に松戸市観光案内所を通じて提案し、サンプルを提供しました。そ

の結果、採用が決まり、その準備を進めています。

⑤ 9/18に発行された(株)少年写真新聞社の壁新聞「理科教育ニュース」No1084の「指パッチン」で飛ばす紙とんぼ。同社からの依頼でこの内容の監修し、解説書で契約している全国の小学校や中学校の先生方へ牛乳パック指とんぼの作り方のポイントや遊び方等のメッセージをおくりました。

⑥ 11/2 (土) 千葉工業同窓会、東葛支部の活動として坂巻支部長が動き、初めて柏市の「第21回大津ヶ丘ふれあいまつり」に参加しました。仮称「千葉工業エコおもちゃクラブOB会」として都合のついた、中村副支部長や加藤会計、材料準備係の私を含めた4名で、活動しました。売り上げは1万円には届きませんでした。同窓会として新しい活動の道が開けたと思っています。

⑦ 11/14 (木) 私のスーパー紙とんぼの教え子、愛称「スーサン」が浅草の大衆演芸場「木馬館」と契約し、白紙キャッチとんぼに人気役者の絵や写真を貼った飾り用の仮称「役者絵とんぼ」を作る話があり、試作用として素地の依頼があり、サンプルを発送しました。

⑧ 11/28 (木) 千葉県商工労働部、観光誘致促進課、海外プロモーション班より、松

戸市の文化観光国際課を通してモニターツアーの話があり、松戸市観光案内所の2階の会場で、県の担当者と松戸市の職員等が立ち会う中で台湾の観光客6名に通訳を通して、千代紙キャッチとんぼと千代紙指とんぼ作りを指導しました。私自身が海外の観光客に直接作り方を教えたのはこれが初めてです。

- ⑨紙とんぼの指導をした学童や生徒全員からお礼の手紙を頂くことはあまりありませんが、令和になってから1年足らずで3カ所になりました。特に高校の受験を控えた小金南中の生徒と担任の先生には逆に感謝です。
8/9 (金) 六二っ子クラブの紙とんぼ教室 37名
10/24(木) 松戸市立小金南中学校3年1組の紙とんぼ指導者教育授業 32名

「10/26 (土) の三世代交流会参加者 150名を指導するため」

11/12 (火) 松戸市立東部小学校1学年の学年活動 (紙とんぼ教室) 137名

- ⑩ 12/7 (土) 一般社団法人松戸市観光協会より、推奨品募集要項が届き、「千代紙キャッチとんぼ」で、初めて募集に応じました。期間は令和2年4月1日～令和4年3月31日迄の2年間で、12月25日に申請しました。審査は令和2年1月24日(金)に行われ、正式には1月27日(月)に、「推奨する「物産品」として決定しました。」との書類が届きました。名前は、松戸市に住み、推奨してくれた松戸市のPRを兼ね、「まつど千代紙とんぼ」としました。販売先は戸定売店のみですので、これをもっと広げたいと思っています。

俳句が面白い

実初 繁 (M30A)

俳句教室の会場として、近くの小学校の教室(空いている部屋)を借りて行う句会がある。

過日、句会が始まっているところへ校長先生が入って来て「実は子供達と社会人との話し合いの場が欲しいんです。

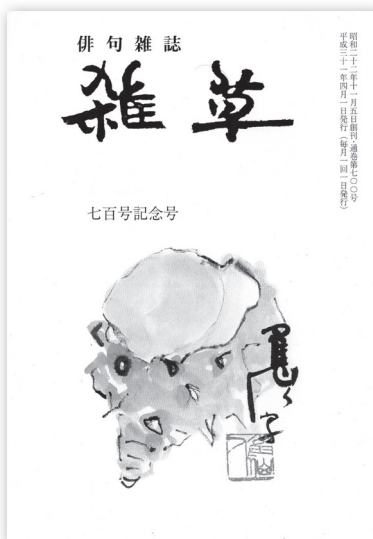
丁度六年生の国語の教科書に俳句が載っていますので皆さん一緒に句会をやって頂けませんか」と言うのであり「後でご返事します」と応えておいた。

次の俳句教室の日に又校長先生がやって来て「先日お願いしました生徒との合同俳句会の件ですが、皆さん何日のご都合がよろしいですか」と言われた。「とにかく初めての事でよくわかりませんが、取り敢えず次の句会の午前中に一クラスだけやって見ましょう」ということにした。

当日は私達代表を五人に絞り授業の始まる三十分前に校長室に伺い予め募集された生徒達の作品に眼を通してた。

そこへ生徒の代表二名が入ってきて「お迎えに。来ました六年。二組です」と言う

のである。今の挨拶偶然かもしれないが、「今の五、七、五になっているねえ」と一同笑みを交わした。実は初めての授業への参加でいささか不安と緊張があったのであるが、この挨拶を受けてそれも吹き飛び、いそいそと教室へ向かった。



読書～つれづれなるままに～徒然草(7)

第59段 求道者の覚悟—大事を思ひ立たむ人

(原文)

大事を思ひ立たむ人は、避る難く心にかからむことの、本意を遂げずしてさながら捨つべきなり。「しばし、この事果てて」同じくはかのこと沙汰し置きて」

「しかしかのこと、人の嘲りやあらむ、行く末難なくしたためまうけて」「年ごろもあればこそあれ、そのこと待たむ、ほどあらし、もの騒がしからぬやうに」など思はむには、えさらぬことのみいとど重なりて、ことの尽くる限るもなく、思ひ立つ日もあるべからず。おほやう人を見るに、少し心ある際は、みなこのあらましにてぞ一期は過ぐめる。

近く火などに逃ぐる人は、「しばし」とや言ふ。身を助けむとすれば、恥をも顧みず、財をも捨てて逃れ去るぞかし。命は人を待つものかは、無常の来ることは、水火の攻めるよりも速やかに、逃れ難きものを、その時、老いたる親、いちきなき子、君の恩、人の情け、捨て難しとて捨てざらむや。

(訳)

一大事を決行しようとする人は、手が引けず、常に心にかかっている事がらを達成させようとする事なく、そっくり捨て去ってしまわねばならぬことである。

「もうちょっと、このことにキリがついてから、……」、「同じ事なら、あのことを始末しておいてから、……」、「これこれの事は、(ほっておけば) 人の嘲笑を受けるおそれもあるろう、将来非難されないように決着をつけてから、……」

「長年の間こうしてやってきたからこそ、うまく運んできたのに、(今度だって) その目鼻がつくのにな長くはかかるまい。あわただしくないように(とりかかってもよからう) などと書いていたりしては、避けられぬ緊急事ばかりが次から次へと重なってきて、事の尽きる折もなく、決行にふみ切る日もあるはずもない。だいたい人を見るのに、いくぶんでもこういう決意に関心がある程度のある人は、誰もこうした計画を立ててみるだけで、(実行に移すことなく) 一生が過ぎてしまうようである。

近火などで逃げる人は「ちょっと(待ってくれ) などと言うはずがない。我が身を助けようとするならば、恥を考慮することなく、財宝をも見捨てて逃げていってしまうものである。命は人を待ってくれるものではない。死の迫ってくることは、水火が襲い掛かってくるよりもスピーデーで逃れるすべもないが、そんな時に、年老いた親、幼い子、君の恩恵、人から受けた情宜などといったものを、どうしても捨てたくないと言ってみても、捨てないわけにはいかないではないか。

(語の意味)

1) 大事

重大な事がら。兼好にとっての大事とは、出家して仏道に専念し悟りの境地に到達すること。

2) したためまうけて

処置をつけておくこと。

3) としごろもあればこそあれ

長年の間このやり方をを通してきたからこそ、こうしてうまく事が運んできたのに、今さら改める必要はないという意味。

- 4) えさらぬこと
避ける事の出来ない要件。のっぴきならぬ用事。
- 5) おほやう
だいたいの意味
- 6) 心あるきは
決断力の意味
- 7) あらまし
予定, 予期の意味。計画を立てるが計画倒れにおわること。
- 8) 無常
人間の死の意味。

(まとめ)

無常（ここでは、死）は、知恵や人情におかまいなしである。どう、じたばたもがいても、かなわない。まるで予定がたたない。それならば、逆に、無常に対して自分の生き方を合わせてみよう。いつも、自分の心の中に無常を住まわせておくことだ。そうすれば、無常は、小事に走る自分に警告を発するから、大事の実行を貫く事ができる。その方が、心安らかに生きられるというものだ。

とは言うものの、頭ではわかっていながら、いざ実行する段になると、あらゆる理由をつけて、サボろうとする。なぜだろう。大事は、やはり、人間の欲望を否定するものだからだ。結局、兼好は、欲望にしばられ大事を実行できない一人である自分自身に向かって、言い聞かせているのでしょう。

我が国はここ十数年前から、阪神大震災(1995年)、東日本大震災(2011年)、熊本地震(2016年)、昨年の本県及び東北の台風19号による、地下、空からと襲われています。

又、令和元年から30年以内に、巨大地震（千島海溝沿いM8.8以上7～40%）、首都圏直下M7級70%）、南海トラフM8～9級70～80%）の予測がなされています。

兼好さんの生きた時代でも、その恐ろしさを考えていたのでしょう。

この頃の天気予報でも、「備えあれば憂いなし」の如く、危険を一段階引き上げて放送されているように、みうけられます。とにかく危険を察知したら、「逃げるが勝ち」を選んだ方がベターかもしれませんね～。

—くわばら くわばら—

(参考文献 徒然草 新潮文庫・ちくま学芸文庫)
記 36 M 坂巻 實

● 皆様の趣味や得意とするものをご連絡下さい ●

会員の皆様は、色々な趣味をお持ちだと思いますが、比較的ポピュラーと思われるものについて、役員のなかで一応の担当者を決めてあります。会員の皆様のご趣味・得意な分野・特技な

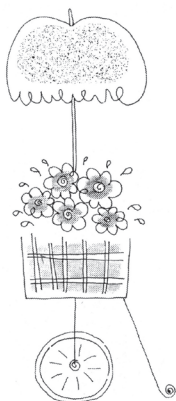
どを把握し、色々な行事や交流にお誘いしたいと考えています。趣味や得意な分野が一致した方は、それぞれの担当者までご連絡下さい。

●ハイキング	中村 軍治	〒 270-1166	我孫子市我孫子 1-3-17	TEL:04-7182-3779
●家庭菜園	富田 博	〒 272-0015	市川市鬼高 3-12-39-516	TEL:047-393-0850
●囲碁・麻雀	高橋 健一	〒 270-0157	流山市平和台 5-400	TEL:04-7159-9367
●スーパー紙とんぼ	鎌形 武久	〒 270-2241	松戸市松戸新田 21-3	TEL:047-364-5084
●茶道	富田 博	〒 272-0015	市川市鬼高 3-12-39-516	TEL:047-393-0850

今後の予定

東葛支部の予定

今回の新型コロナウイルス感染による影響は、はかり知れません。同窓会活動にも特大の影響を及ぼし、本来行われなければいけない「令和2年度 第22回 支部定期総会」も書面（はがき）による決議をお願いした次第です。決議の結果、議案一号から議案四号まで会員全員の承認を頂き新しい年度が始まりました。しかし、いまだに新型コロナウイルス感染は猛威を振るっています。この、影響は今年度にも影響し、今年の予定も不明の点が多く、予定として「令和3年度第23回定期総会」は場所「我孫子・鈴木屋本店」を仮予約しました。今後、行事等計画出来ましたら、ホームページ「千葉県立千葉工業高校同窓会東葛支部」に掲載し、又支部会員には書面で御連絡いたします。



本部・他支部関係の予定

本部・他支部も新型コロナウイルス感染による影響で予定が立たないのが現状です。毎年行われています、各支部総会、同窓会入会式、学校の卒業式、同窓祭が予定はしていますが現状では難しいのではないのでしょうか。この様な暗い中、明るいニュースもあります、レディス・ビオラのホームページが出来まして現在、同窓会本部のホームページ「千葉工業高校同窓会」にリンクしてありますのでご覧ください。

編集後記

会報32号発行が遅れまして申し訳ありません。新型コロナウイルス感染の影響も在り、今後会報に載せる内容も検討しなければなりません。又、この紙面をお借りして新型コロナウイルス感染症の中の支部の運営方法も考えて見たいと思います。

今後の支部活動を円滑に進めるとしたら、ホームページを活用し、尚且つ連絡方法としてメールを使う方法が考えられます。

メールをお持ちではない方はハガキ等で連絡す

る方法を考えて行きます。

少なくとも、役員の方同士の連絡方法として、パソコン、スマホでのテレワーク（ZOOM）を導入を考えております、

今回、発送した会報の中にハガキを同封しますので、メールをお持ちの方は、アドレスを記入していただき返送してください。

新型コロナウイルス感染を乗り越え、楽しい同窓会にしましょう。

新入会員募集と入会手続きについて

東葛支部では、会員を増やしてどんどん組織を大きくしていきたいと思っています。このため、役員の中に「会員増促進委員会」を作って活動しています。

会員の皆様の仲間で、会員資格のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会を勧めて下さい。

- 1. 入会資格** 千葉工業学校、千葉工業高校、および同校併設中学校の卒業生、ならびにかつて同校に在勤、在学していた方で支部長が認めた方。
東葛地域に居住している方及び千葉県外に居住している方、または出身が同地域の方、同地域に勤務されている方。
- 2. 会費** 年会費 3,000円
- 3. 入会手続** 役員へ入会申込みされますと郵便振替用紙をお送りしますから、年会費3,000円を振込願います。

支部会報第33号の原稿募集

東葛支部会報第33号の原稿を募集します。

- 1. 発行予定** 令和3年5月
- 2. 原稿締切** 令和3年3月
- 3. 内容** 母校の思い出・恩師の思い出・私の職場・私の仕事・私の趣味・私の特技・旅日記・近況・クラス会模様・エッセイ・呼びかけ・イベント報告等、何でも結構です。
- 4. 投稿方法** 卒年科・ご氏名を記入の上、郵便・FAX（自動受信）・E-mailのいずれかでご投稿下さい。
- 5. 投稿先**
編集委員長 中村軍治 〒270-1166 我孫子市我孫子 1-3-17
TEL:04-7182-3779 E-mail:nakagu@jcom.home.ne.jp
編集委員 土屋孝夫 〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-18-17
TEL:044-844-2767 E-mail:golf-t@tbn.t-com.ne.jp
編集委員 富田 博 〒272-0015 市川市鬼高 3-12-39-516
TEL:080-6532-9506 E-mail:c-tomi@rr.em-net.ne.jp

東葛支部会報

第32号

発行 令和2年12月
発行者 千葉工業同窓会 東葛支部
発行責任者 支部長 坂巻 実
事務局 事務局 富田 博
編集責任者 編集委員長 中村軍治